

明けましておめでとうございます。本年も新見高校の生徒の活躍と、このウェブページに温かい御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新見高校の新年は2日(金)、雪の舞う中で行われた弓道部射初め会から始まりました。男女主将による「矢渡し」、部員一人ひとりが今年の抱負を述べ、目標を書いた板を的に見立てて射抜く。地元ケーブルテレビのインタビューには「インターハイ制覇を目標に稽古に励む」と力強く答えていました。

普通科3年生は4日(日)からの強化学習会。暮れも正月もなく(?)精進した勢いをそのまま持ち越し、いよいよ受験シーズン突入です。センター試験では、昨年まで吉備国際大一会場だった備北地区ですが、大学入試センターの方針で、試験会場の新たな割り振りが行われ、今年は県立大会場と分散しての受験です。引率者の増員や、家を出る時間が少し早まるなど、負担感は拭えませんが、学年団教職員・生徒一体となって、日頃から培った力を十分に発揮できるよう、準備をととのえて臨みたいと思います。

6日は小寒、いわゆる寒の入りです。これから2月初めの節分までが寒中で、冷え込みが本当に厳しくなります。「寒稽古」といいますが、まさに寒中に鍛えるという、身が引き締まる思いがするとともに、凛々しく若者らしさあふれる姿だと思います。南部地域の柔らかな日差しや乾いたグラウンドに比べ、暗く低い空、グラウンドはぬかるんだり雪に覆われていたり条件は恵まれていないけれども、それに負けない練習の工夫、意気込みと集中力で来たるシーズンに花開く力を養ってほしいと思います。

今年の干支は「乙未(きのとひつじ)」です。インターネットの記事や漢和辞典での解字などによっていろんな意味づけが解説されていますが、ある人からいただいた年賀状の詞に思わず膝を打ちました。

---

今年の干支「乙未」の「乙」は獣骨で作ったへらのことで、亂(乱)の旁でもあります。もつれた糸とへらから成るのが「亂」という字であることから、「亂」は「おさむ(治)」とも読みます。乱れを治めるものが「乙」だといってよいでしょう。

「未」は、適切な剪定を必要としますが、木の枝葉が茂る形です。新たな年が、乱れを治め、枝葉が豊かに茂りゆく一年であるように願わずにはられません。

---

平成27年が新見高校にゆかりのあるすべての方々、このホームページを御覧いただいている皆様にとって平穏で満ち足りた年になりますよう祈念申し上げます。

平成27年睦月吉日

岡山県立新見高等学校長  
松井 健一